



Title	中央アジア関連研究文献リスト2019
Citation	日本中央アジア学会報, 16, 82-86
Issue Date	2020-07-31
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/88504
Type	other
File Information	JB016_019list.pdf



[Instructions for use](#)

中央アジア関連研究文献リスト2019

本リストは、2019年(1月～12月)に刊行された、原則としてイスラーム化以降の中国新疆、旧ソ連領のムスリム地域、およびその周辺地域に関する学術文献をリストアップしたものである(理科系のを除く)。原則的に、国内で刊行された、国内で活動する研究者による著作を中心とし、エッセイや辞典項目等は除外した。ただし、本学会会員の著作については、海外刊行のものも一部含まれる。なお、各文献の副題はコロンつなぎで統一した。

書籍

- Абдухоликов Ф. Ф., Э. В. Ртвеладзе, Сергей Лаптев, Киносита Ватару, Ёнэда Юсукэ, Сакаи Тацуо, Инагаки Хадзимэ, Такэда Тамако, Иван Сьюмпэй, Ёсинобу Тацуми, Сикаку Рюдзи, Фукуда-Сиддики Хироко, *«Марказий Осиё маданият мероси Япония музейларида» китоб-альбоми*, Тошкент: «East Star Media» МЧЖ, «Darakchi inform servis» МЧЖ буюртмасига кўра (非売品)
- ISHINAMA Yumiko, Ryosuke KOBAYASHI, Makoto TACHIBANA, and Takehiko INOUE, eds., *The Resurgence of “Buddhist Government”: Tibetan–Mongolian Relations in the Modern World*, Osaka: Union Press (紙版 4,584円、Kindle 版 2,200円)
- 岡奈津子『〈賄賂〉のある暮らし：市場経済化後のカザフスタン』白水社 (2,200円+税)
- 菊田悠『ウズベキスタン陶芸紀行：よみがえるシルクロードの窯元』共同文化社 (1,500円+税)
- 塩谷哲史『転流：アム川をめぐる中央アジアとロシアの五〇〇年史』風響社 (700円+税)
- 長沢栄治監修、森田豊子、小野仁美編著『結婚と離婚(イスラーム・ジェンダー・スタディーズ 1)』明石書店 (2,500円+税)
 - 和崎聖日「旧ソ連ムスリムの結婚と離婚：ウズベキスタンの例」
 - 磯貝真澄「19世紀から20世紀初頭のロシアにおけるムスリムの婚姻と法」などを所収

■ 野田仁、小松久男編著『近代中央ユーラシアの眺望』山川出版社 (4,800円+税)

- 野田仁「はじめに：中央ユーラシア史研究の現在」
- 小沼孝博「遊牧民とオアシスの民、そして交易：モゲール・ウルスからジュンガルへ」
- 坂井弘紀「英雄叙事詩が伝えるノガイ・オルダ」
- 野田仁「遊牧民の法と社会：ロシア統治下カザフ草原における 19 世紀前半の変容」
- 秋山徹「遊牧英雄のリアリズム：近代を生きたあるクルグズ首領一族の生存戦略」
- 宇山智彦「カザフ知識人とイスラーム：遊牧民社会の近代化の方向性をめぐって」
- 塩谷哲史「19 世紀コングラト朝ヒヴァ・ハン国の君主像」
- 河原弥生「ワリー・ハン・トラ：コーカンド・ハン国滅亡期におけるマルギランのスーパーヒーロー指導者」
- 植田暁「中央アジアの綿花モノカルチャー：ロシア帝政期からソ連初期のフェルガナ地方を対象に」
- 清水由里子「東トルキスタンの近代：ジャディードたちの改革運動」
- 濱本真実「タタール商人の新疆進出」
- 佐々木紳「オスマン帝国からみた中央ユーラシア：汎イスラーム主義の射程」
- 帯谷知可「帝政ロシアのムスリム女性言説とその共振：A. アガエフの著作を中心に」
- 小松久男「言説空間のひろがり：アブデュルレシト・イブラヒムの足跡をたどって」
- 長縄宣博「帝国の協力者か攪乱者か：ロシア帝国のタタール人の場合」
- ダダバエフ・ティムール「中央アジアにおけるソ連時代の記憶」

を所収

■ NODA Jin and ONO Ryosuke eds. *Emigrants/Muhacir from Xinjiang to Middle East during 1940–60s*, Fuchu: ILCAA, Tokyo University of Foreign Studies (非売品)

- NODA Jin, “Kazakh Migrants and Soviet-Chinese Relations during the 1940s: A Background of Xinjiang Refugees to the Middle East”
- ONO Ryosuke, “Beyond Humanitarian Interest: America’s Aid, Inclusion, and Investment in Xinjiang Kazakh Refugees in Kashmir”

などを所収

論文

- 明山曜子「乾隆中期における「新疆經費局」の成立と新疆統治」『待兼山論叢』53 (史学編), 29–60 頁
- アブドゥルマジード、ハサンハン・ヤフヤー (木村暁、和崎聖日編訳・注釈、和崎聖日序文)「ウズベク語におけるクルアーンの解釈と翻訳について」『日本中央アジア学会

報』15, 23–52頁

- 諫早庸一「天文学から見たユーラシアの13世紀～14世紀:文化の軸としてのナスィール・アッデイン・トゥースイー (1201～1274年)」『史苑』79 (2), pp. 88–114
- ISAHAYA Yoichi, “Sino-Iranica in Pax Mongolica: The Elusive Participation of Syriac-Rite Christians in the Ilkhanid Translation Project,” Rong Xinjiang and Dang Baohai eds., *Marco Polo and the Silk Road (10th–14th Centuries)*, Beijing: Peking University Press, pp. 341–362
- ISAHAYA Yoichi, “The Mongol Impact on Astronomy: The Differentiation of Astronomy in the Eastern and Western Islamic World,” Mohammad Faghfoory and Katherine O’Brien eds., *Voices of Three Generations: Essays in Honor of Seyyed Hossein Nasr*, Chicago: Kazi Publications, pp. 333–349
- 磯貝健一「遺産の共有：19世紀後半から20世紀初頭中央アジアの家族と家産継承」『西南アジア研究』89, 87–116頁
- 今堀恵美「人類学的フィールドワークからみるウズベク女性の刺繍づくり」『東海大学紀要文化社会学部』1, 151–163頁
- 宇山智彦「近代帝国間体系のなかのロシア:ユーラシア国際秩序の変革に果たした役割」, 秋田茂編『グローバル化の世界史 (MINERVA 世界史叢書 2)』ミネルヴァ書房, 211–240頁
- 宇山智彦「進化する権威主義：なぜ民主主義は劣化してきたのか」『世界』2019年4月号, 89–96頁
- 宇山智彦「カザフスタンのナザルバエフ「院政」：旧ソ連諸国における権力継承の新モデル？」『ロシアNIS調査月報』2019年6月号, 43–56頁
- UYAMA Tomohiko, “Why in Central Asia, Why in 1916? The Revolt as an Interface of the Russian Colonial Crisis and the World War,” Aminat Chokobaeva, Cloé Drieu, and Alexander Morrison, eds., *The Central Asian Revolt of 1916: A Collapsing Empire in the Age of War and Revolution*, Manchester: Manchester University Press, pp. 27–44
- Уяма Томохико, “Идея и реальность казахского автономизма в годы Гражданской войны в России: самостоятельность и зависимость народов в квази-имперском пространстве,” *Гражданская война на востоке России (ноябрь 1917 – декабрь 1922 г.): сборник материалов Всероссийской научной конференции с международным участием*, Новосибирск: Изд-во СО РАН. С. 376–387
- 小沼孝博「清末ホウド地区における清朝統治の再編とカザフ人」『東北学院大学論集 歴史と文化』59, 85–106頁

- ONUMA Takahiro, “The Shift in Qing-Kazakh Relations: The Qing Western Territory in the 1770s,” *Memoirs of the Research Department of The Toyo Bunko* 76, pp. 35–56
- KIKUTA Haruka “Mobile Phones and Self-Determination Among Muslim Youth in Uzbekistan,” *Central Asian Survey* 38 (2), pp. 181–196
- 木下恵二「1950年代における新疆生産建設兵団と『先進』としての漢族」『常磐総合政策研究』3, 35–47頁
- 熊倉潤「中国共産党の新疆統治の始まりと少数民族エリート(1949～52年)」『問題と研究』48 (4), 99–134頁
- 熊倉潤「中ソ対立下の中国少数民族幹部政策：新疆ウイグル自治区の事例から(1966～1976年)」『国際政治』197, 58–73頁
- 坂井弘紀「テュルク」, 吉田敦彦編『世界の神話 英雄事典』河出書房, 224–244頁
- 坂井弘紀「英雄叙事詩とシャマニズム 2」『和光大学表現学部紀要』19, 27–44頁
- 澤井充生「現代中国の回族社会における屠畜の周縁化：動物供犠と殺生忌避の事例分析から」『日本中東学会年報』35 (2), 129–152頁
- 塩野崎信也「『四書』バクー本にみるイスラーム「写本」文化の一様相」『龍谷史壇』149, 1–22頁
- 塩野崎信也「ロシア帝政期南東コーカサスの村落住民」『龍谷大学論集』494, 107–134頁
- 塩谷哲史「19世紀中葉オレンブルグにおける交易について」, 今村薫編著『牧畜社会の生態』名古屋学院大学総合研究所, 17–27頁
- SHIOYA Akifumi, “The Treaty of Ghulja Reconsidered: Imperial Russian Diplomacy Toward Qing China in 1851,” *Journal of Eurasian Studies* 10 (2), pp.147–158
- Sidoli, Nathan, and Yoichi ISAHAYA, “Naşīr al-Dīn al-Ṭūsī’s Comments on Euclid’s Data,” *Historia Mathematica* 47, pp. 87–105
- 清水学「アゼルバイジャン外交と非同盟主義：イランとイスラエルの狭間」『中東レビュー』6 (2018–19) (アジア経済研究所), pp. 99–119
- 須賀隆、諫早庸一「『イル・ハン天文便覧』に見える中国暦・ヒジュラ暦換算表の再構：モンゴル帝国期東西天文学交流の再考」, 相馬充、谷川清隆編『第5回「歴史的記録と現代科学」研究会集録』国立天文台, 252–277頁
- 宗野ふもと「ソ連期ウズベキスタンにおける社会主義的近代化と女性：「シャフリサブズ」『フジウム』芸術製品工場」の労働者の事例から」『日本中央アジア学会報』15, 1–22頁
- 田中周「ナショナリズム論からみる中国の民族問題：新疆を事例とする理論的考察」『国際情勢 紀要』89, 49–61頁
- 田中周、鈴木隆「〈国民国家〉と〈国際関係〉の中の新疆ウイグル自治区」, 奥野良知編著『地

域から国民国家を問い直す：スコットランド、カタルーニャ、ウイグル、琉球・沖縄などを事例として』明石書店, 205–243頁

- Нагаминэ Хироюки, “Еще раз о сочинении Кадыр-Али-бека («Джами ат-таварих / Сборник летописей»),” *Золотоордынское обозрение* 7(1), pp. 115–130
- 野田仁「グレートゲームの場としての新疆：ヤークープ・バク政権の成立と清朝の再征服」, 岡本隆司、箱田恵子編著『ハンドブック近代中国外交史：明清交替から満州事変まで』ミネルヴァ書房, 96–101頁
- 濱本真実「越境者の記録から見る 18世紀末～19世紀前半のロシア・新疆貿易」『西南アジア研究』89, 58–86頁
- 福田浩子「中央アジア・ウズベキスタンのカード織りについて (1)：広島県立美術館所蔵品およびウズベキスタン現地調査による」『広島県立美術館研究紀要』22, 1–12頁
- 福田義昭「昭和期の日本文学における在日ムスリムの表象 (4)：軽井沢篇」『アジア文化研究所研究年報』53, 1–18頁
- フダーイベルガノフ、カーミルジャーン(木村暁解説・編訳注)「イチャン・カラ水利抄史」『日本中央アジア学会報』15, 53–76頁
- 八木啓俊「ティムール朝とバダフシャーン政権：ティムール朝在地勢力支配の解明に向けて」『内陸アジア史研究』34, 5–26頁
- 矢島洋一「トゥグルク・テムルとモグール・ウルス」『寧楽史苑』64, 50–60頁